

研究課題名：

新型コロナワクチン接種後の新型コロナウイルス感染者における抗体応答

研究の目的と方法：

2019年12月以降中国湖北省武漢市を中心に発生が確認されている新型コロナウイルス感染症は、世界的に大きな問題となっています。こうした中で、新型コロナウイルス感染症のワクチン（新型コロナワクチン）開発は未曾有のスピードで進み、世界では複数のワクチンが多くで国で使用開始されました。これらワクチンは臨床試験で高い有効性を示しており、日本においてもこれらのワクチンが承認されましたが、有効性は100%ではないことから、ワクチン接種後に新型コロナウイルスに感染する例を散発的に認めています。そこで本研究では、ワクチン接種後に感染した方を診察した医師からの求めに応じて、感染研で実施した抗体検査結果や検査の残りの検体を用いた追加の抗体検査を行い、ワクチン接種後に感染した方での免疫応答の傾向を解析します。この結果は、ワクチンを接種する方が増えていく中で、今後の新型コロナウイルス感染症対策を考える上で非常に有用な情報となります。なお、本研究で使用する情報や検体は匿名化されており、個人が特定されることはありません。よって、研究の成果が学会や専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人が特定できるような情報が公表されることは一切ありません。

研究の対象者及び対象期間：

2021年3月31日以後から本研究の終了（2024年12月31日）までの期間に受診医療機関を通じて感染研に、新型コロナワクチン接種後感染の検査のために情報と検体を送付された方

研究に利用する試料・情報：

検査依頼機関から新型コロナワクチン接種後の新型コロナウイルス感染の検査のために感染研に提供された情報と検査結果、検体の残余（感染研に送付時に個人が特定されないように匿名化されており、年齢、性別、新型コロナウイルス感染に関する疫学情報、既往歴、新型コロナワクチン接種状況、病原体検査結果などを含みます。）

研究組織：

国立感染症研究所

試料・情報の管理について責任を有する者：

試料の管理：国立感染症研究所 感染病理部 部長 鈴木 忠樹

情報の管理：国立感染症研究所 感染症疫学センター センター長 鈴木 基

試料の管理：国立感染症研究所 治療薬・ワクチン開発研究センター センター長 高橋 宜聖

お問い合わせ先：

〒162-8640 東京都新宿区戸山 1-23-1
国立感染症研究所
鈴木 忠樹（研究責任者）
TEL 03-5285-1111 FAX 03-5285-1189